

広島電鉄株式会社の呉市域バス路線及び呉市生活交通の令和4年度収支状況等について（報告）

1 広島電鉄株式会社の呉市域バス路線の令和4年度収支状況

(1) 現 状

令和4年度（補助対象期間：令和3年10月1日から令和4年9月30日まで）における広島電鉄株式会社（以下「広島電鉄」といいます。）の実車走行キロ数は約306万キロメートル、乗車人数は約496万人となっています。

次に、令和4年度の収支状況については、令和3年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に伴う運賃収入の減少などから、経常収益は約11億4千万円、経常費用は約17億4千万円で、約6億円の赤字となっています。

(2) 業務量状況

区 分		令和4年度(a) (R3.10.1~R4.9.30)	令和3年度(b) (R2.10.1~R3.9.30)	比 較 (a)-(b)
在籍車両数（乗合）	両	86	88	△ 2
路 線 数	路線	9	9	0
実車走行キロ（乗合）	km	3,057,573.6	3,090,418.1	△ 32,844.5
乗車人数	定期外	3,877,479	3,868,893	8,586
	定 期	1,087,343	1,162,739	△ 75,396
	合 計	4,964,822	5,031,632	△ 66,810
収支状況	経常収益	1,141,538	1,191,921	△ 50,383
	経常費用	1,744,445	1,828,338	△ 83,893
	経常収支	△ 602,907	△ 636,417	33,510

※経常収益には、新型コロナウイルス感染症対策取組事業者に対する支援給付金等（令和3年度：47,600千円、令和4年度：12,150千円）は含んでいません。

(3) 路線別収支（経営支援補助金）状況等

令和4年度においては、令和3年度と同様、新型コロナウイルス感染症の影響による利用者の減少に伴う運賃収入の減少などから、全ての路線が赤字路線となり、経営支援補助金は、約6億2,565万円となりました。

(単位：人、千円)

区分	令和4年度 (R3.10.1~R4.9.30)							令和3年度 (R2.10.1~R3.9.30)							比較				
	乗車人数 ①	経常収益 (a) ※1	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	経常収支率 (a)/(b)	経常費用 + 適正利潤 (d)	経営支援 補助金 (算出額) ③ (d)-(a)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	経常収支率 (a')/(b')	経常費用 + 適正利潤 (d')	経営支援 補助金 (算出額) ④ (d')-(a')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	経営支援 補助金 (算出額) ③-④		
1 宮原線	574,008	105,009	156,475	△51,466	67.1%	159,605	54,596	572,132	108,365	162,374	△54,009	66.7%	165,621	57,256	1,876	2,543	△2,660		
2 呉倉橋島線	915,801	254,121	409,057	△154,936	62.1%	417,238	163,117	945,917	266,891	429,325	△162,434	62.2%	437,912	171,021	△30,116	7,498	△7,904		
3 吉浦天応線	446,080	88,505	170,390	△81,885	51.9%	173,797	85,292	445,869	92,121	189,358	△97,237	48.6%	193,145	101,024	211	15,352	△15,732		
4 広仁方線 (旧仁方川尻線)	775,216	157,068	206,180	△49,112	76.2%	210,304	53,236	811,231	168,869	219,388	△50,519	77.0%	223,776	54,907	△36,015	1,407	△1,671		
5 郷原黒瀬線	614,673	152,982	260,724	△107,742	58.7%	265,939	112,957	620,552	158,292	270,963	△112,671	58.4%	276,382	118,090	△5,879	4,929	△5,133		
6 辰川線	164,735	24,921	32,082	△7,161	77.7%	32,723	7,803	160,864	24,910	33,278	△8,368	74.9%	33,944	9,034	3,871	1,207	△1,231		
7 長の木長迫線	367,703	54,753	73,768	△19,015	74.2%	75,243	20,490	354,877	55,015	76,515	△21,500	71.9%	78,045	23,030	12,826	2,485	△2,540		
8 三条二河宝町線	82,204	12,898	41,976	△29,078	30.7%	42,816	29,918	81,689	13,473	40,302	△26,829	33.4%	41,108	27,635	515	△2,249	2,283		
9 焼山熊野苗代線	1,024,402	291,281	393,793	△102,512	74.0%	401,669	110,388	1,038,501	303,985	406,835	△102,850	74.7%	414,972	110,987	△14,099	338	△599		
小計(A)	4,964,822	1,141,538	1,744,445	△602,907	65.4%	1,779,334	637,797	5,031,632	1,191,921	1,828,338	△636,417	65.2%	1,864,905	672,984	△66,810	33,510	△35,187		
黒字路線	なし						—	—	なし						—	—	—	—	—
赤字路線	9路線	1,141,538	1,744,445	△602,907	65.4%	1,779,334	637,797	9路線	1,191,921	1,828,338	△636,417	65.2%	1,864,905	672,984	△66,810	33,510	△35,187		
新型コロナウイルス感染症関連支援金(B) ※1							12,150							47,600	△35,450				
経営支援補助金(交付額)(A-B)							625,647	経営支援補助金(交付額)(A-B)						625,384	263				

※1 新型コロナウイルス感染症関連支援金は、各路線の経常収益には含めず、一括して別枠（(B)欄）に記載しています。

※2 小数点以下を四捨五入しているため、算出額が合わない場合があります。

2 呉市生活交通の令和4年度収支状況

(1) 現 状

旧合併町4地区（下蒲刈，川尻，倉橋及び安浦）及び広島電鉄が路線退出をした路線において，市民生活に不可欠な公共交通を確保するため，地元交通事業者等に対し，生活バスの運行を依頼しています。

また，吉浦地区及び警固屋地区においては，地域住民が主体となり，地域の移動ニーズに即した形態で乗合タクシーが運行されています。

令和4年度は，令和3年度に比べて，三条二河宝町線の生活交通への移管などにより，利用者・収入とも増加しましたが，物価高騰や燃油費高騰の影響を受け，費用が増加したため，全体として経常収支は悪化しています。

(2) 路線別収支（運行負担金）状況等

ア 呉市生活バス

(7) 合併町地域

（単位：人，千円）

区 分	令和4年度（R4.4.1～R5.3.31）							令和3年度（R3.4.1～R4.3.31）						比較		
	乗車人数 ①	経常収益 (a) ※1	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	新型コロナ ウイルス感 染症対策関 連支援金(d)	運行 負担金 〔うち県補 助〕③	経 常 収 支 率 (a)／(b)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	運行 負担金 〔うち県補 助〕④	経 常 収 支 率 (a')／(b')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④
1 下蒲刈	1,919	315	11,412	△11,097	150	10,947 〔0〕	※2 3.2%	2,914	590	11,781	△11,191	11,191 〔0〕	※2 6.3%	△ 995	94	△244 〔0〕
2 川尻	5,335	577	16,182	△15,605	150	15,455 〔0〕	※2 5.2%	7,555	851	15,943	△15,092	15,092 〔0〕	※2 7.0%	△ 2,220	△513	363 〔0〕
3 倉橋	28,877	7,922	33,025	△25,103	600	24,503 〔4,309〕	24.0%	28,584	7,650	33,965	△26,315	26,315 〔4,846〕	22.5%	293	1,212	△1,812 〔△537〕
4 安浦	16,634	2,456	19,505	△17,049	300	16,749 〔897〕	12.6%	15,897	2,067	18,820	△16,753	16,753 〔509〕	11.0%	737	△296	△4 〔388〕
合計	52,765	11,270	80,124	△68,854	1,200	67,654 〔5,206〕	—	54,950	11,158	80,509	△69,351	69,351 〔5,355〕	—	△ 2,185	497	△1,697 〔△149〕

※1 令和4年度の経常収益には，新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金は含んでいません（（d）欄に記載しています。）。

※2 パスピーシステムが未導入の路線（下蒲刈及び川尻）について経常収支率を算出する際は，経常収益に優待負担金相当額を加算して計算しています。

(イ) 広島電鉄移管路線

(単位：人、千円)

移管年度	区分	令和4年度 (R4. 4. 1~R5. 3. 31)							令和3年度 (R3. 4. 1~R4. 3. 31)						比較				
		乗車人数 ①	経常収益 (a) ※1	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	新型コロナウイルス感染症対策関連支援金(d)	運行負担金 〔うち県補助〕③	経常収支率 (a)÷(b)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	運行負担金 〔うち県補助〕④	経常収支率 (a')÷(b')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行負担金 ③-④		
平成26年度	1	音戸	24,991	5,618	26,890	△21,272	300	20,972 〔621〕	20.9%	28,471	5,961	27,064	△21,103	21,103 〔621〕	22.0%	△3,480	△169	△131 〔0〕	
	2	広	横路	39,051	5,191	24,073	△18,882	300	18,582 〔860〕	21.6%	36,492	4,473	22,685	△18,212	18,212 〔857〕	19.7%	2,559	△670	370 〔3〕
	3		白石白岳	72,129	11,318	21,636	△10,318	300	10,018 〔1,088〕	52.3%	69,733	10,659	21,411	△10,752	10,752 〔1,087〕	49.8%	2,396	434	△734 〔1〕
	4	昭和	北コース	53,324	10,962	25,049	△14,087	450	13,637 〔359〕	43.8%	51,930	10,946	25,490	△14,544	14,544 〔358〕	42.9%	1,394	457	△907 〔1〕
	5		中央コース	70,903	9,714	20,164	△10,450	150	10,300 〔1,054〕	48.2%	68,205	9,191	19,359	△10,168	10,168 〔1,079〕	47.5%	2,698	△282	132 〔△25〕
	6		南コース	38,582	6,933	16,667	△9,734	150	9,584 〔970〕	41.6%	39,443	7,318	16,308	△8,990	8,990 〔981〕	44.9%	△861	△744	594 〔△11〕
令和元年度	7	呉苗代下条線	49,681	8,896	23,660	△14,764	300	14,464 〔1,584〕	37.6%	51,431	9,205	18,271	△9,066	9,066 〔1,577〕	50.4%	△1,750	△5,698	5,398 〔7〕	
	8	北原神山峠線	3,195	576	22,930	△22,354	150	22,204 〔0〕	2.5%	3,363	610	17,569	△16,959	16,959 〔0〕	3.5%	△168	△5,395	5,245 〔0〕	
	9	見晴町線	19,214	3,635	21,356	△17,721	150	17,571 〔551〕	17.0%	21,946	4,016	16,057	△12,041	12,041 〔614〕	25.0%	△2,732	△5,680	5,530 〔△63〕	
	10	阿賀音戸の瀬戸線	132,292	28,421	89,562	△61,141	600	60,541 〔4,766〕	31.7%	131,855	28,310	86,363	△58,053	58,053 〔4,871〕	32.8%	437	△3,088	2,488 〔△105〕	
	11	広長浜線	111,936	20,938	80,012	△59,074	450	58,624 〔2,304〕	26.2%	112,365	19,989	78,664	△58,675	58,675 〔2,664〕	25.4%	△429	△399	△51 〔△360〕	
	12	仁方小須磨線	6,112	790	16,251	△15,461	150	15,311 〔0〕	4.9%	6,572	860	16,473	△15,613	15,613 〔0〕	5.2%	△460	152	△302 〔0〕	
	13	広川尻線	99,050	15,278	48,074	△32,796	450	32,346 〔3,420〕	31.8%	94,061	14,931	51,386	△36,455	36,455 〔3,418〕	29.1%	4,989	3,659	△4,109 〔2〕	
	14	田原藤の脇線	65,421	15,087	51,497	△36,410	450	35,960 〔3,811〕	29.3%	65,575	14,346	53,519	△39,173	39,173 〔3,874〕	26.8%	△154	2,763	△3,213 〔△63〕	
令和4年度	15	三条二河宝町線	31,656	3,626	11,746	△8,120	0	8,120 〔0〕	30.9%							31,656	△8,120	8,120 〔0〕	
合計			817,537	146,983	499,567	△352,584	4,350	348,234 〔21,388〕	—	781,442	140,815	470,619	△329,804	329,804 〔22,001〕	—	36,095	△22,780	18,430 〔△613〕	

※1 令和4年度の経常収益には、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金は含んでいません（(d)欄に記載しています。）。

イ 乗合タクシー

(単位：人、千円)

区分	令和4年度 (R4.4.1~R5.3.31)							令和3年度 (R3.4.1~R4.3.31)						比較		
	乗車人数 ①	経常収益 (a) ※1	経常費用 (b)	経常収支 (c) ((a)-(b))	新型コロナウイルス 感染症対策関連 支援金 (d)	運行 負担金 〔うち県補 助〕③	経常 収支率 (a) / (b)	乗車人数 ②	経常収益 (a')	経常費用 (b')	経常収支 (c') ((a')-(b'))	運行 負担金 〔うち県補 助〕④	経常 収支率 (a') / (b')	乗車人数 ①-②	経常収支 (c)-(c')	運行 負担金 ③-④
1 吉浦地区 (あじさい号)	15,819	2,545	7,402	△4,857	300	4,100 〔712〕	34.4%	15,301	2,499	7,553	△5,054	4,100 〔709〕	33.1%	518	197	0 〔3〕
2 警固屋地区 (おでかけバス)	2,227	332	3,439	△3,107	150	1,800 〔0〕	9.7%	1,682	238	3,116	△2,878	1,800 〔0〕	7.6%	545	△229	0 〔0〕
合計	18,046	2,877	10,841	△7,964	450	5,900 〔712〕	—	16,983	2,737	10,669	△7,932	5,900 〔709〕	—	1,063	△32	0 〔3〕

※1 令和4年度の経常収益には、新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金は含んでいません（(d)欄に記載しています。）。

3 今後の路線バス及び生活交通に関する取組方針

路線バスにおいては、住民の利便性の向上や効率的・効果的な路線運営の実現について、引き続き広島電鉄と協議・検討を進めます。

また、生活交通においては、順次、各地区で地元の意見を取り入れながら、地域の実情やニーズ、利用実態に応じて運行形態や運行路線の見直しなどを行い、持続可能な生活交通の実現に向け取り組んでいきます。

4 離島航路

「齋島航路」及び「三角航路」は、呉市が出資している第三セクター「齋島汽船株式会社」が運航していますが、各島の人口減少などにより、収支の悪化が続いており、令和2年11月13日付けで策定・公表をした「第三セクター等経営健全化方針」に基づき、経営改善の取組に着手しました。

令和4年度は、呉市離島航路確保維持改善協議会（以下「協議会」といいます。）を設置し、運航見直しの検討を行いました。

(1) 各航路の利用状況等

ア 齋島航路（齋島～久比）

	H30年度 (H29.10.1～H30.9.30)	R1年度 (H30.10.1～R1.9.30)	R2年度 (R1.10.1～R2.9.30)	R3年度 (R2.10.1～R3.9.30)	R4年度 (R3.10.1～R4.9.30)
利用者数（人）※	5,925.5	5,631.0	5,390.5	4,796.5	4,351.0
1便当たりの平均利用者数（人／便）	1.7	1.6	1.5	1.3	1.2
経常収益（千円）(a)	2,236	1,829	1,849	1,736	2,364
経常費用（千円）(b)	31,606	31,500	34,500	32,851	46,527
経常収支（千円）(a)－(b)	△29,370	△29,671	△32,651	△31,115	△44,163
経常収支率（％）(a)／(b)	7.1	5.8	5.4	5.3	5.1

イ 三角航路（三角～久比）

	H30年度 (H29.10.1～H30.9.30)	R1年度 (H30.10.1～R1.9.30)	R2年度 (R1.10.1～R2.9.30)	R3年度 (R2.10.1～R3.9.30)	R4年度 (R3.10.1～R4.9.30)
利用者数（人）※	7,105.5	6,896.5	6,021.0	6,280.0	5,505.0
1便当たりの平均利用者数（人／便）	1.8	1.8	1.5	1.6	1.4
1便当たりの平均利用車両数（台／便）	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
経常収益（千円）(a)	2,136	1,959	1,883	1,960	1,816
経常費用（千円）(b)	29,429	28,557	31,499	31,571	32,067
経常収支（千円）(a)－(b)	△27,293	△26,598	△29,616	△29,611	△30,251
経常収支率（％）(a)／(b)	7.3	6.9	6.0	6.2	5.7

※小人は0.5人で換算

(2) 令和4年度の取組状況

令和4年10月31日（月）	第1回協議会（運航見直し方針（案）の説明 等） 住民意見交換会（三角・豊浜・齋島・豊の4地区、参加人数計27人）
" 11月27日（日）	
～12月7日（水）	
令和5年2月1日（水）	第2回協議会（住民意見交換会の報告、運航見直し方針（修正案）の了承）
" 3月27日（月）	国土交通省中国運輸局事前協議の着手

(3) 見直し方針案

ア 齋島航路の寄港地の変更（廃止）

【現行】 齋島・大浜・豊島・立花・久比の5港

【変更後】 齋島・豊島・久比の3港

イ 両航路の運航便数の変更（減便）

(7) 齋島航路

【現行】 通年（1/1～1/3を除く。）1日5往復10便、
1/1は運休、1/2及び1/3は1日3往復6便

【変更後】 通年（1/1～1/3を除く。）1日4往復8便、
1/1は運休、1/2及び1/3は1日3往復6便

(4) 三角航路

【現行】 3月～10月期は月～土曜日は1日5往復10便、
日曜日・祝日は1日4往復8便、11月～2月期は
月～土曜日は1日7往復14便、日曜日・祝日並び
に1/2及び1/3は1日5往復10便、1/1は
1日2往復4便

【変更後】 通年（1/1を除く。）1日4往復8便（11月～
2月期の増便を廃止し、月～土曜日・日曜日・祝日
とも同じダイヤ）、1/1は運休

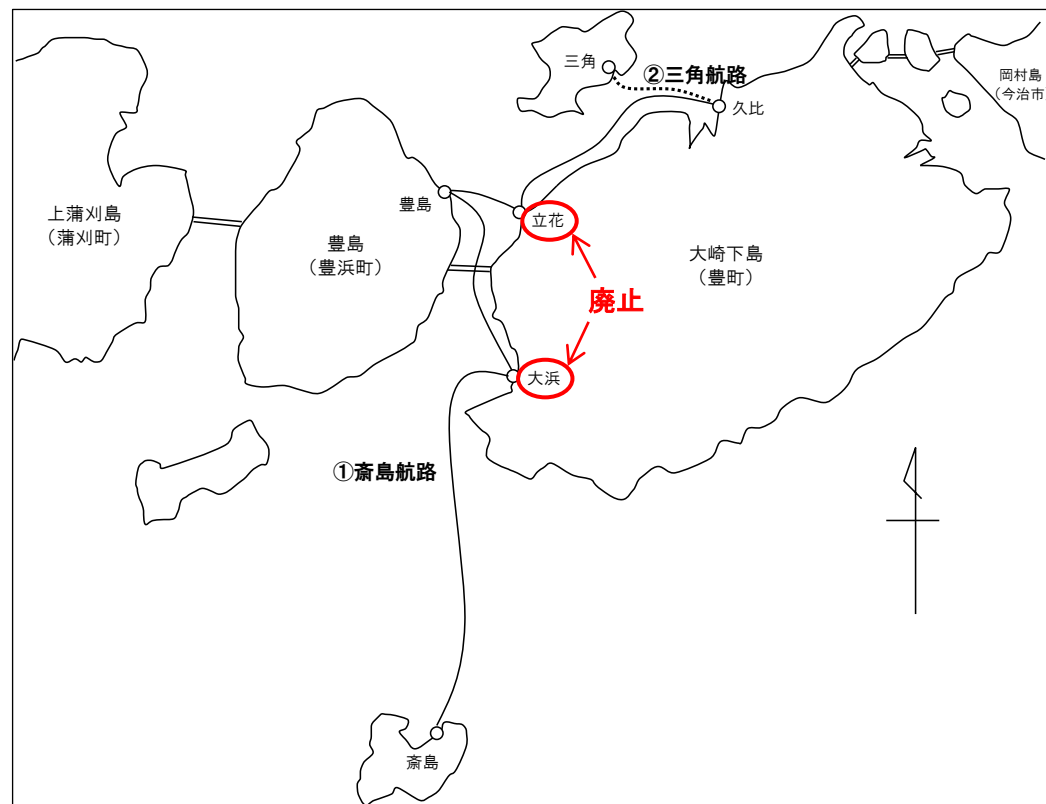
ウ 両航路の運航ダイヤの変更

ア・イを踏まえ、バスとの接続を考慮した運航ダイヤに変更

(4) 今後の予定

令和5年	6月頃	国土交通省中国運輸局事前協議での承認
〃	7月以降	国土交通省本省協議
	時期未定	国土交通省本省協議での承認
	〃	見直し後の運航開始

【離島航路図】



5 生活航路（小長明石航路）

「小長明石航路」については、昨年12月1日に、運航事業者であるしまなみ海運株式会社（以下「しまなみ海運」といいます。）から、中国運輸局に対して航路廃止届が提出されましたが、同社との交渉を重ねた結果、呉市の負担金算出に関する考え方について同意し、合意に達しましたので、運航が継続されることとなりました。

(1) 利用状況等（小長～明石）

	H30年度 (H30.4.1～H31.3.31)	R元年度 (H31.4.1～R2.3.31)	R2年度 (R2.4.1～R3.3.31)	R3年度 (R3.4.1～R4.3.31)	R4年度 (R4.4.1～R5.3.31)
利用者数（人）※	48,913	48,302	40,374	37,456	36,899
1便当たりの平均利用者数（人／便）	11.5	11.4	9.5	8.8	8.7
1便当たりの平均利用車両数（台／便）	5.1	4.7	4.2	4.0	3.7
経常収益（千円）(a)	41,407	38,442	34,734	35,463	33,456
経常費用（千円）(b)	74,576	72,121	68,063	73,389	73,567
経常収支（千円）(a)－(b)	△33,169	△33,679	△33,329	△37,926	△40,111
経常収支率（%）(a)／(b)	55.5	53.3	51.0	48.3	45.5

※一般利用（乗船券購入者数）と定期券利用（定期券購入者数×40回（学生：44回））の合計

(2) これまでの経緯

令和4年12月 1日（木） しまなみ海運が航路廃止届を提出（中国運輸局受理）
 令和5年 3月10日（金） しまなみ海運が航路廃止届の取下願を提出（中国運輸局受理）
 " 3月14日（火） 運航継続について豊地区自治会連合会等、地元関係者に説明

(3) 今後の予定

しまなみ海運に対し、現在の利用実態に応じた便数の適正化等の経費縮減と運賃改定の実施などの合理化を求めつつ、負担金による支援を行い、安定的な運航の継続を図ります。